

## 第5章

# 市民意向の 把握等

- 1 市民等意向の把握
  - (1)市民アンケートの主な項目
  - (2)東京諫早会会員アンケートの主な項目
  - (3)市民ワークショップでの主な意見
- 2 第1次総合計画の分析



轟の滝（高来地域）

## 第5章 市民意向の把握等

### ○調査の目的

市民の本市に対するイメージや市の取組についての満足度、今後の居住意向などの本市の現状に対する認識を把握するとともに、今後目指すべき本市の将来像や重点課題など今後の市政運営に対する意見を把握し、第2次諫早市総合計画策定の基礎資料とするために、まちづくり市民アンケート及び市民ワークショップ等を実施したものです。

### 1 市民等意向の把握

#### 把握手段

##### 〈市民アンケート〉

調査対象：諫早市に居住する18歳以上の市民  
配布数：3,000  
(有効回収数 1,533、有効回収率 51.1%)  
調査方法：無作為抽出による郵送法  
調査時期：平成26年10月

##### 〈東京諫早会会員アンケート〉

調査対象：東京諫早会会員  
配布数：114  
(有効回収数 74、有効回収率 64.9%)  
調査方法：東京諫早会総会において配布・回収  
調査時期：平成26年10月

##### 〈市民ワークショップ〉

調査対象：15歳以上で市内に在住、在勤、在学の市民  
参加者：延べ53名  
実施回数：2回  
実施時期：平成26年11月、12月

#### 数値の基本的な取り扱いについて

- ①比率は全て百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。
- ②基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。

## (1) 市民アンケートの主な項目

### ① 市の取組についての満足度

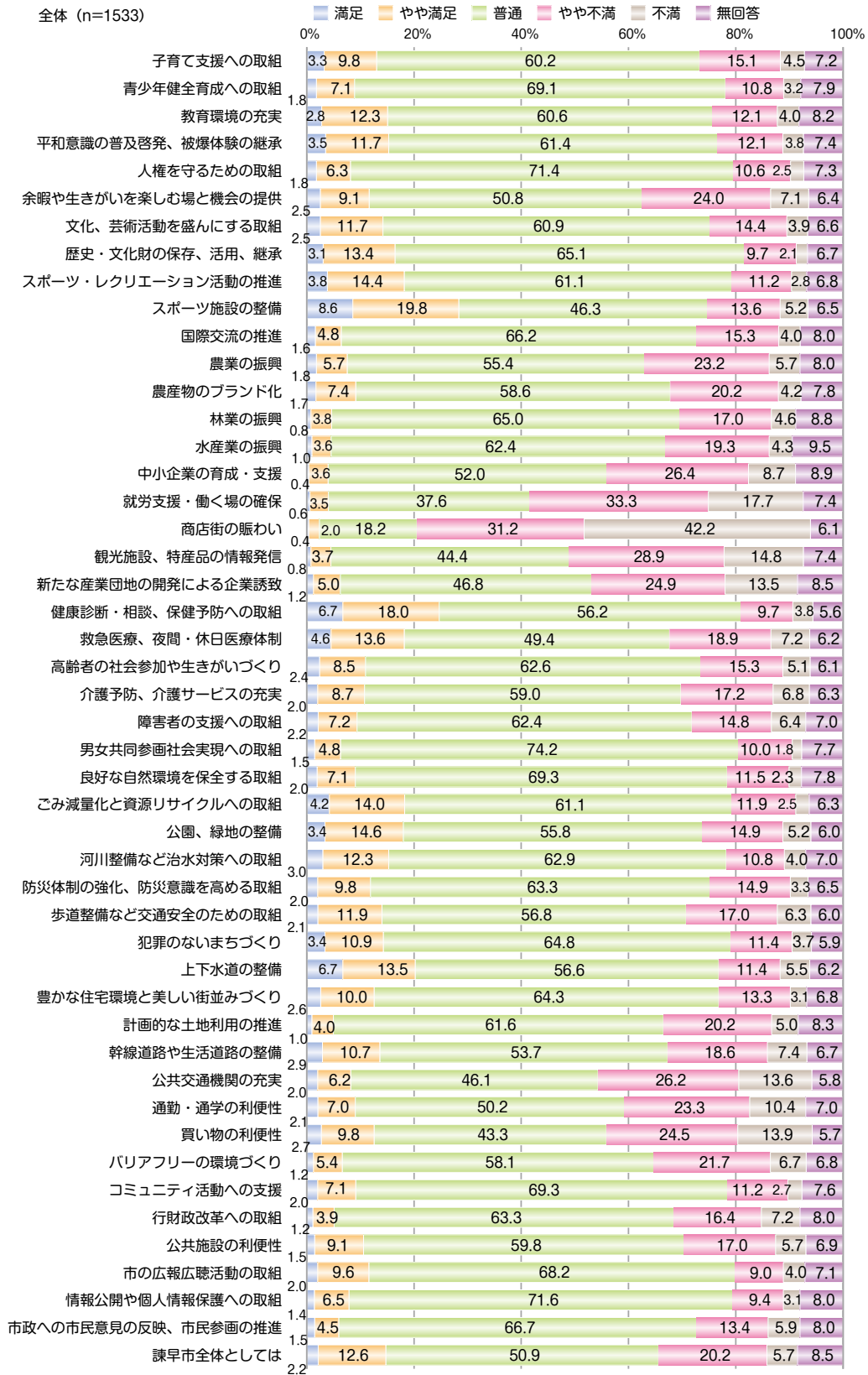
**問2** 次にあげる項目について、あなたは、諫早市の取組状況について、どの程度満足していますか。(1)から(48)のそれぞれについて、あてはまるものを1つずつ選んで番号に○をつけてください。

● 「スポーツ施設の整備」が28.4%で第1位。

市の取組について、現在どの程度満足しているかを把握するため、輝くひとづくり、活力ある産業づくり、暮らしの充実、市民主役のまちづくりの4分野48項目について、「満足」「やや満足」「普通」「やや不満」「不満」の5段階で評価してもらいました。

“満足”(「満足」と「やや満足」の合計)の比率が高い項目としては、『スポーツ施設の整備』(28.4%)が第1位に挙げられ、次いで『健康診断・相談、保健予防への取組』(24.7%)、『上下水道の整備』(20.2%)などの順となっています。一方、“不満”(「やや不満」と「不満」の合計)の比率が高い項目としては『商店街のにぎわい』(73.4%)が第1位に挙げられ、次いで『就労支援・働く場の確保』(51.0%)、『観光施設、特産品の情報発信』(43.7%)などの順となっています。

【図表1】市の取組についての満足度（全体／％）



## ② 今後の居留意向

**問15** あなたは、これからも諫早市に住み続けたいと思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

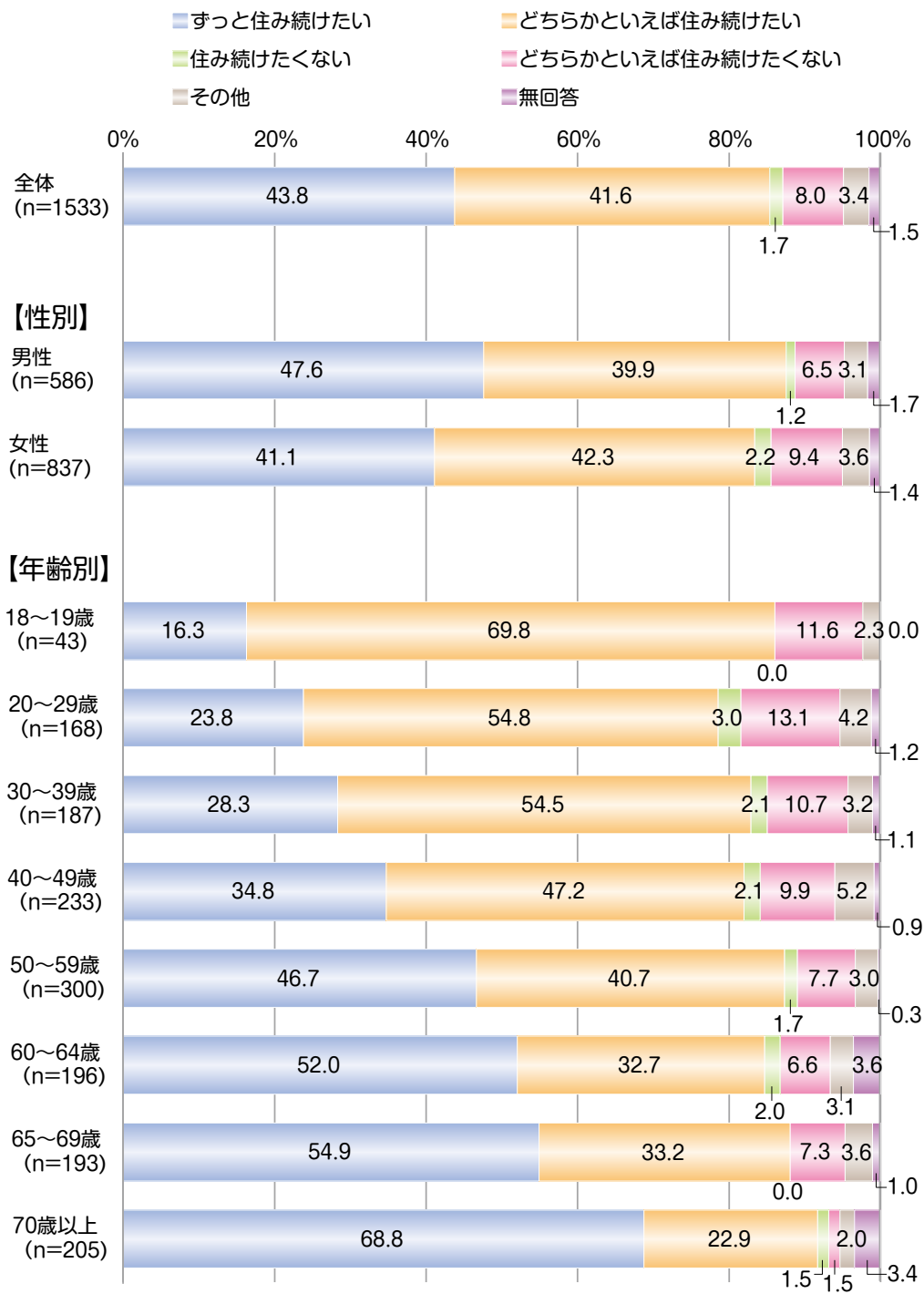
● “住み続けたい”が85.4%、一方、“住み続けたくない”が9.7%。

今後の居留意向については、「ずっと住み続けたい」と答えた人が43.8%と最も多く、これに「どちらかといえば住み続けたい」(41.6%)を合わせた85.4%の人が“住み続けたい”という意向を示しています。また、「住み続けたくない」は1.7%で、これに「どちらかといえば住み続けたくない」(8.0%)を合わせた“住み続けたくない”は9.7%でした。

性別で見ると、“住み続けたい”率は男性(87.5%)が女性(83.4%)を上回り、特に「ずっと住み続けたい」と回答した率では男性(47.6%)が女性(41.1%)を6.5ポイント上回り、男性の定住意向が強い傾向がうかがえます。

年齢別で見ると、「ずっと住み続けたい」と回答した人は39歳以下の年齢層では30%以下と若干落ちるものの、“住み続けたい”率は全ての年齢で約80%の率になり、70歳以上では91.7%にのぼります。

【図表2】 今後の居留意向（全体、性別、年齢別）



第1章

第2章

第3章

第4章

基本政策 1-1

基本政策 1-2

基本政策 2-1

基本政策 2-2

基本政策 2-3

基本政策 3-1

基本政策 3-2

基本政策 3-3

基本姿勢 4-1

第5章

資料編

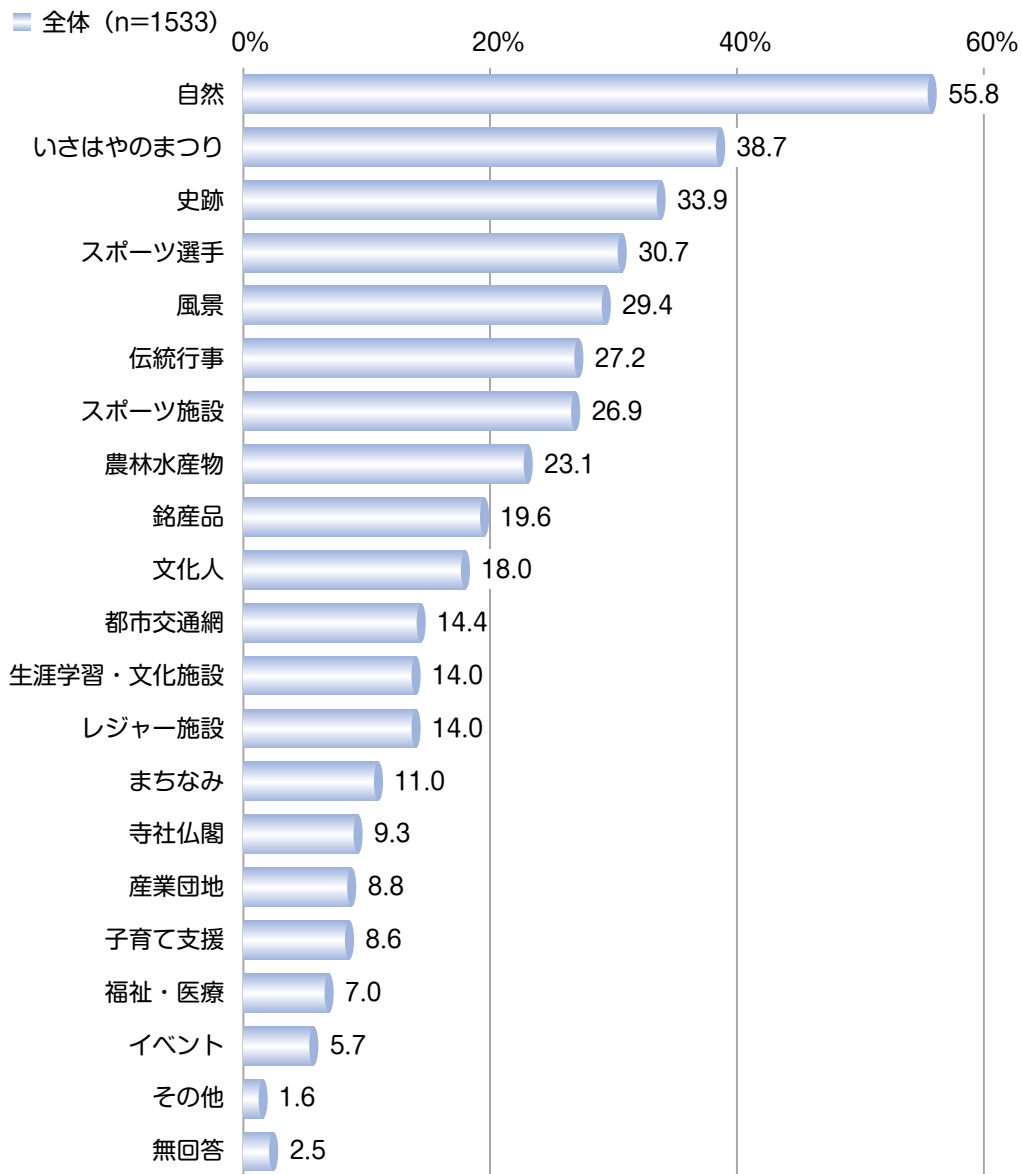
## ③ 「諫早市らしさ」を感じ、愛着や誇りを持てるもの

**問16** あなたが“諫早市らしさ”を感じ、愛着や誇りを持てるものは何ですか。1から20のうちからお考えに近いものを5つ以内で選んで番号に○をつけてください。【複数回答】

● 「自然」が55.8%で第1位。

「諫早市らしさ」を感じ、愛着や誇りを持てるものは、「自然」（55.8%）が第1位に挙げられ、次いで「いさはやのまつり」（38.7%）、「史跡」（33.9%）、「スポーツ選手」（30.7%）が上位を占め、以下、「風景」（29.4%）、「伝統行事」（27.2%）、「スポーツ施設」（26.9%）、「農林水産物」（23.1%）などの順となっています。

【図表3】「諫早市らしさ」を感じ、愛着や誇りを持てるもの（全体／複数回答）



第1章

第2章

第3章

第4章

基本政策 1-1

基本政策 1-2

基本政策 2-1

基本政策 2-2

基本政策 2-3

基本政策 3-1

基本政策 3-2

基本政策 3-3

基本姿勢 4-1

第5章

資料編



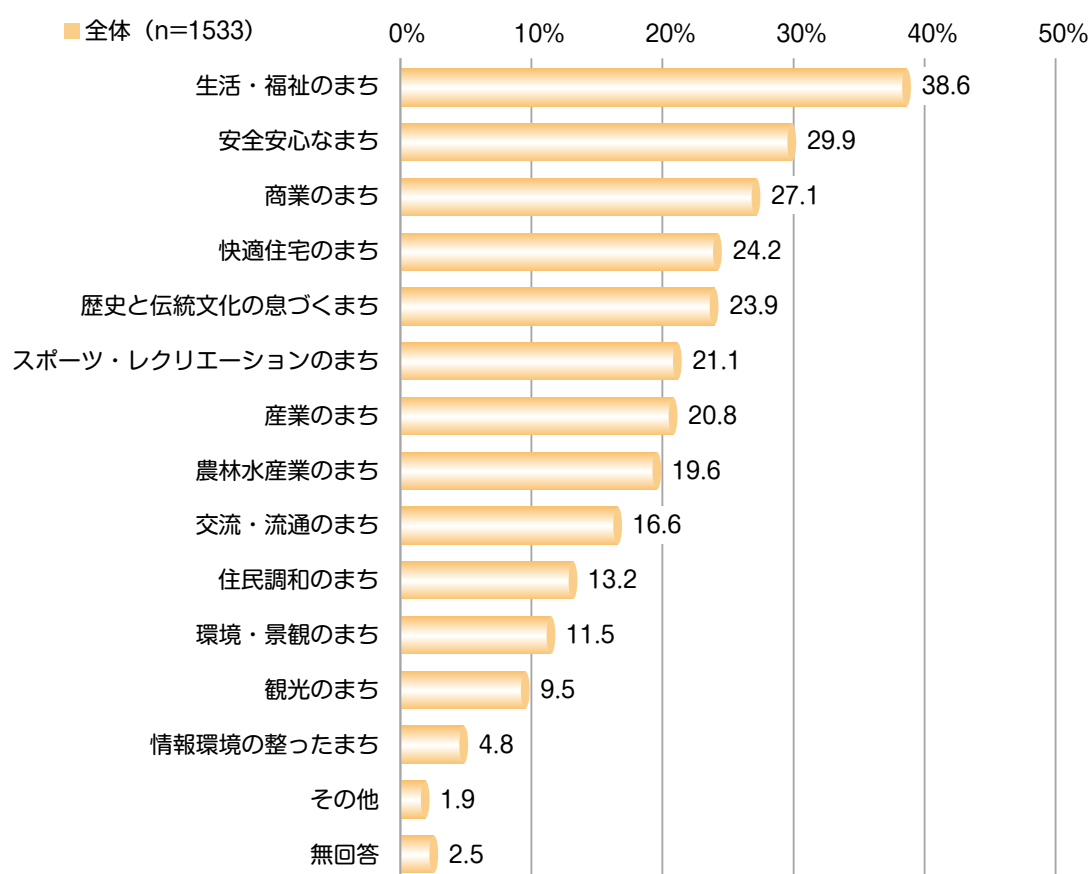
## ④ 諫早市の望ましい将来像

**問17** あなたは、諫早市を今後どのようなまちにするのがよいと思いますか。お考えに近いものを3つ以内で選んで番号に○をつけてください。【複数回答】

● 「生活・福祉のまち」が38.6%で第1位。

諫早市の望ましい将来像は、「生活・福祉のまち」（38.6%）が第1位に挙げられ、次いで「安全安心なまち」（29.9%）、「商業のまち」（27.1%）が上位を占め、以下、「快適住宅のまち」（24.2%）、「歴史と伝統文化の息づくまち」（23.9%）、「スポーツ・レクリエーションのまち」（21.1%）、「産業のまち」（20.8%）などの順となっています。

【図表4】 諫早市の望ましい将来像（全体／複数回答）



⑤ 九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）が完成した後のまちづくりに期待すること

**問18** あなたは、九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）が完成した後の諫早市のまちづくりにどのようなことを期待しますか。お考えに近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

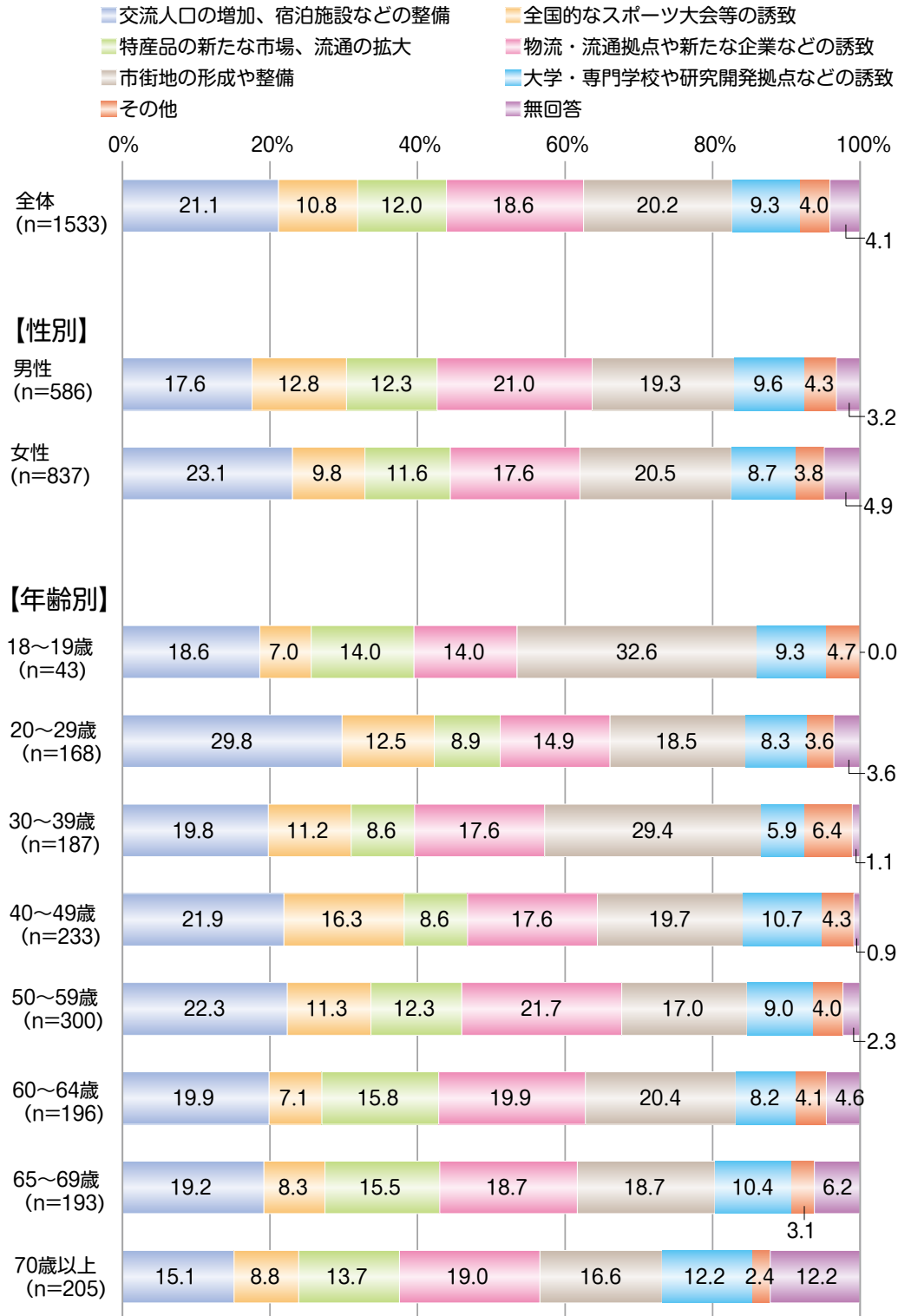
- 「交流人口の増加、宿泊施設などの整備」が最も多く、次いで「市街地の形成や整備」「物流・流通拠点や新たな企業などの誘致」と続く。

九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）が完成した後のまちづくりに期待することについては、「交流人口の増加、宿泊施設などの整備」（21.1%）が最も多く、次いで「市街地の形成や整備」（20.2%）、「物流・流通拠点や新たな企業などの誘致」（18.6%）、「特産品の新たな市場、流通の拡大」（12.0%）、「全国的なスポーツ大会等の誘致」（10.8%）、「大学・専門学校や研究開発拠点などの誘致」（9.3%）の順となっています。

性別で見ると、男性は「物流・流通拠点や新たな企業などの誘致」（21.0%）、女性は全体と同様に「交流人口の増加、宿泊施設などの整備」（23.1%）が最も多くなっています。

年齢別で見ると、20～29歳は「交流人口の増加、宿泊施設などの整備」が29.8%で他の年齢層に比べて多くなっています。また、18～19歳と30～39歳では「市街地の形成や整備」が3割前後と他の年齢層に比べて多くなっています。

【図表5】九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）が完成した後のまちづくりに期待すること  
（全体、性別、年齢別／複数回答）



## (2) 東京諫早会会員アンケートの主な項目

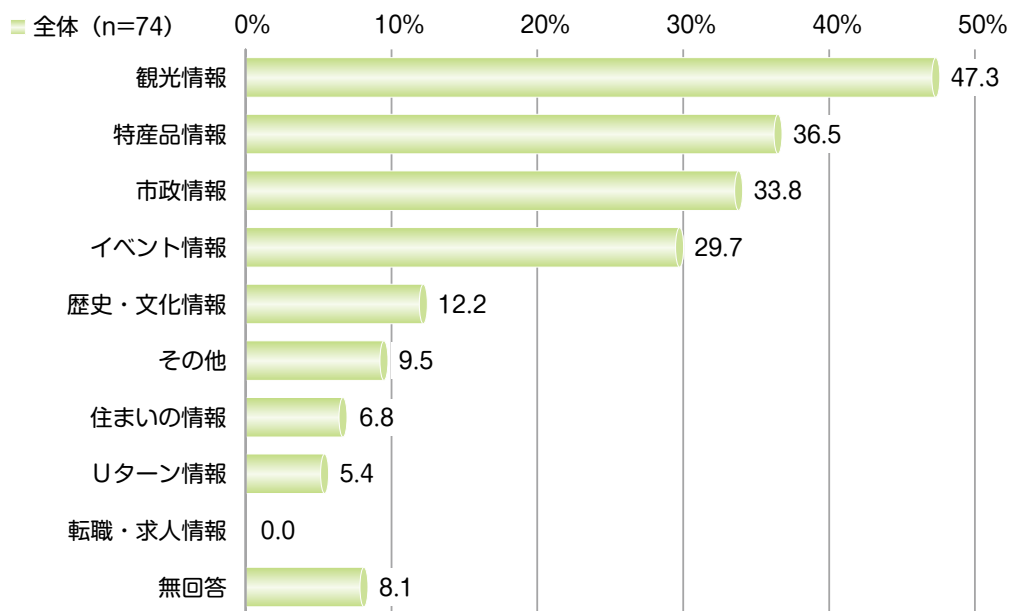
### ① 今後ほしい情報

問4 それはどのような内容ですか。また、今後どのような情報を得たいですか。あてはまるもの全てを選んで番号に○をつけてください。【複数回答】

● 「観光情報」が第1位に挙げられ、次いで「特産品情報」「市政情報」が続く。

今後ほしい情報については、「観光情報」(47.3%)が第1位に挙げられ、次いで「特産品情報」(36.5%)、「市政情報」(33.8%)が上位を占め、以下、「イベント情報」(29.7%)、「歴史・文化情報」(12.2%)などの順となっています。[図表1参照]

【図表1】 今後ほしい情報 (全体/複数回答)



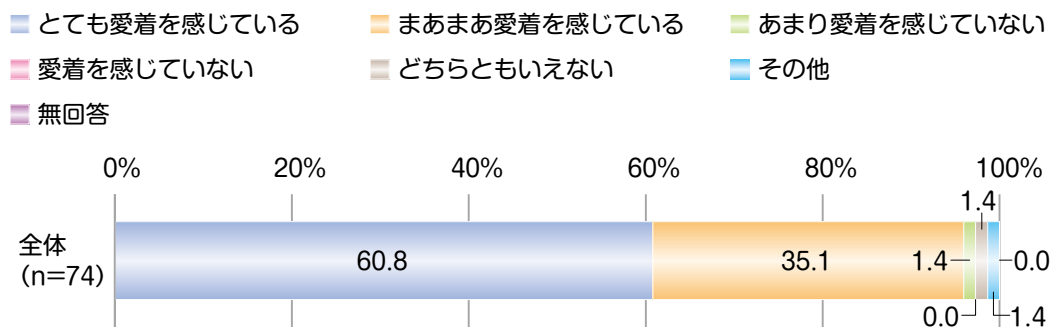
## ② 「自分のまち」としてどの程度愛着を感じているか

**問5** あなたは、諫早市に「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

● “愛着を感じている”が95.9%、一方、“愛着を感じていない”が1.4%。

諫早市に「自分のまち」としてどの程度愛着を感じているかについては、「とても愛着を感じている」（60.8%）が最も多く、次いで「まあまあ愛着を感じている」（35.1%）が続き、これらを合わせた“愛着を感じている”が95.9%となっています。これに対して、“愛着を感じていない”（「あまり愛着を感じていない」（1.4%）と「愛着を感じていない」（0.0%）の合計）は1.4%にとどまり、総じてまちへの愛着度は高いと言えます。[図表2参照]

【図表2】「自分のまち」としてどの程度愛着を感じているか（全体）



### ③ 「諫早市らしさ」を感じ、愛着や誇りを持てるもの

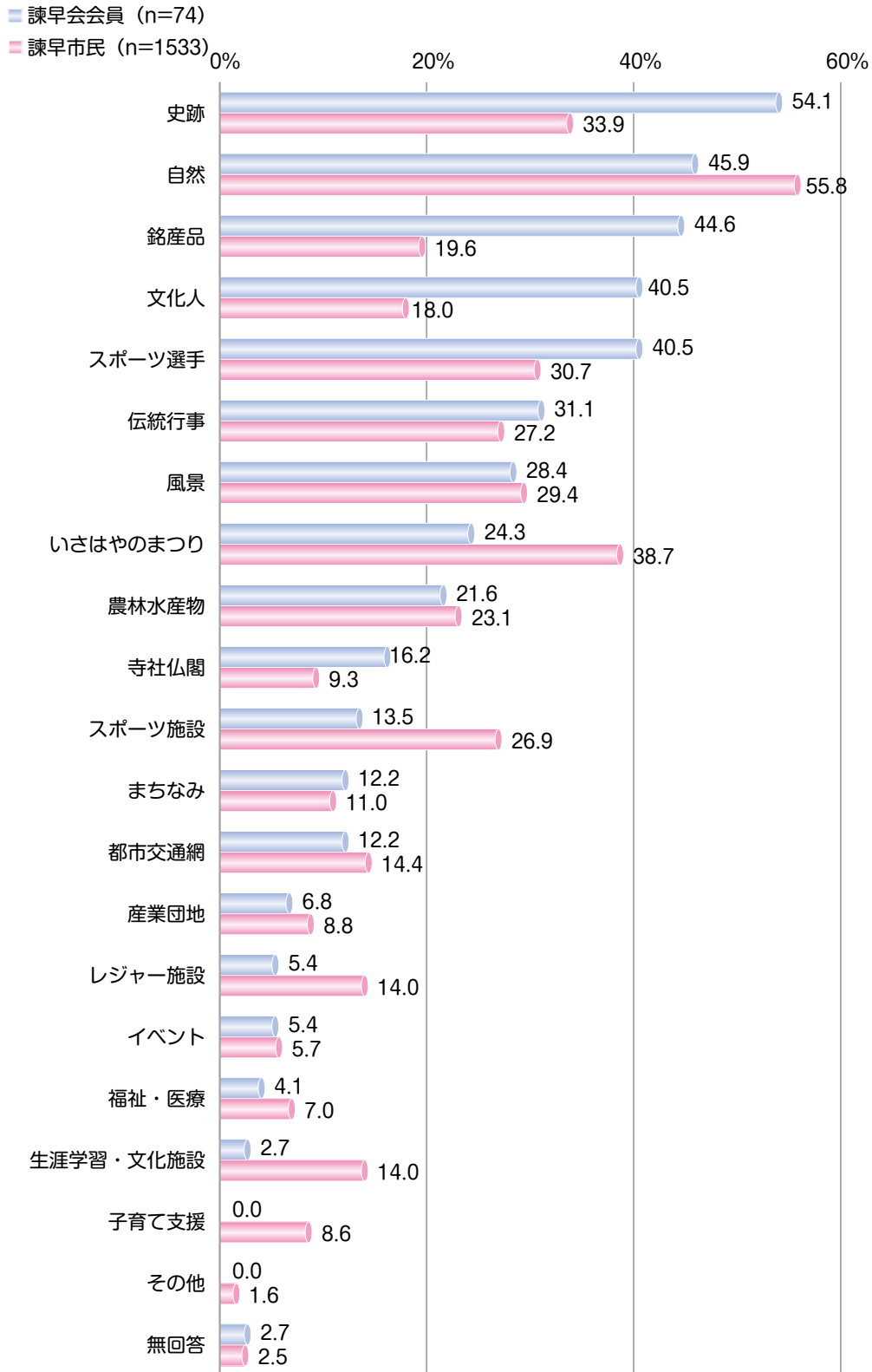
**問6** あなたにとって諫早市らしさ、愛着や誇りを感じるもの、県外へもっとアピールした方がよいと思うものは何ですか。1から20のうちからお考えに近いものを5つ以内で選んで番号に○をつけてください。【複数回答】

- 「史跡」が第1位に挙げられ、次いで「自然」「銘産品」が続く。

「諫早市らしさ」を感じ、愛着や誇りを持てるものについては、「史跡」（54.1%）が第1位に挙げられ、次いで「自然」（45.9%）、「銘産品」（44.6%）が上位を占め、以下、「文化人」「スポーツ選手」（同率40.5%）などの順となっています。

諫早市民を対象とした調査における類似設問の分析結果と比較すると、「史跡」「銘産品」「文化人」「スポーツ選手」などの項目で会員は市民の比率を大きく上回っており、一方、「いさはやのまつり」「スポーツ施設」「レジャー施設」「生涯学習・文化施設」などの項目では、市民が会員の比率を大きく上回っています。[図表3参照]

【図表3】「諫早市らしさ」を感じ、愛着や誇りを持てるもの  
(全体、市民との比較/複数回答)



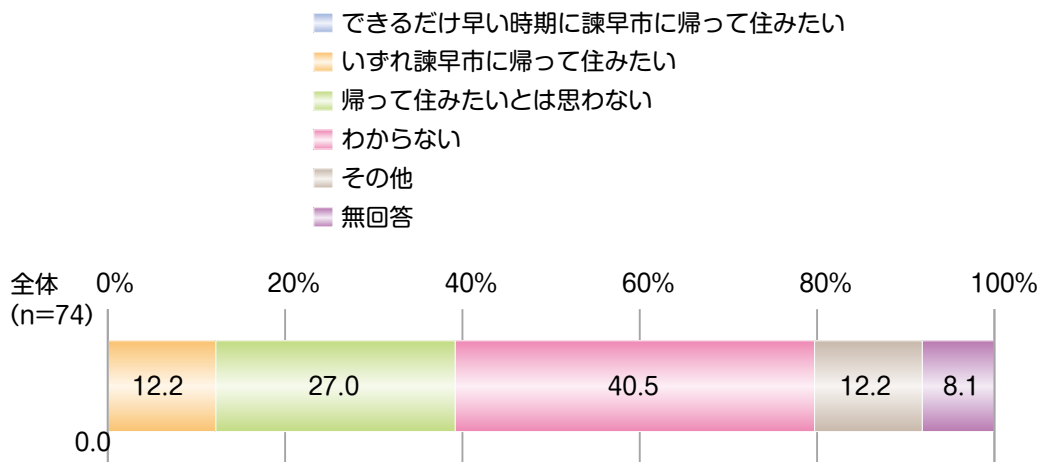
④ 将来、諫早市に帰って住みたいと思うか

問7 あなたは、将来、諫早市に帰って住みたいと思われませんか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

● 「帰って住みたいとは思わない」が「諫早市に帰って住みたい」を上回る。

将来、諫早市に帰って住みたいと思うかについては、「わからない」が40.5%と約4割を占め最も多くなっています。また、「帰って住みたいとは思わない」が27.0%で、これに対して「いずれ諫早市に帰って住みたい」は12.2%となっており、「帰って住みたいとは思わない」が「いずれ諫早市に帰って住みたい」を14.8ポイント上回っています。[図表4参照]

【図表4】 将来、諫早市に帰って住みたいと思うか（全体）





## ⑤ 九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）が完成した後のまちづくりに期待すること

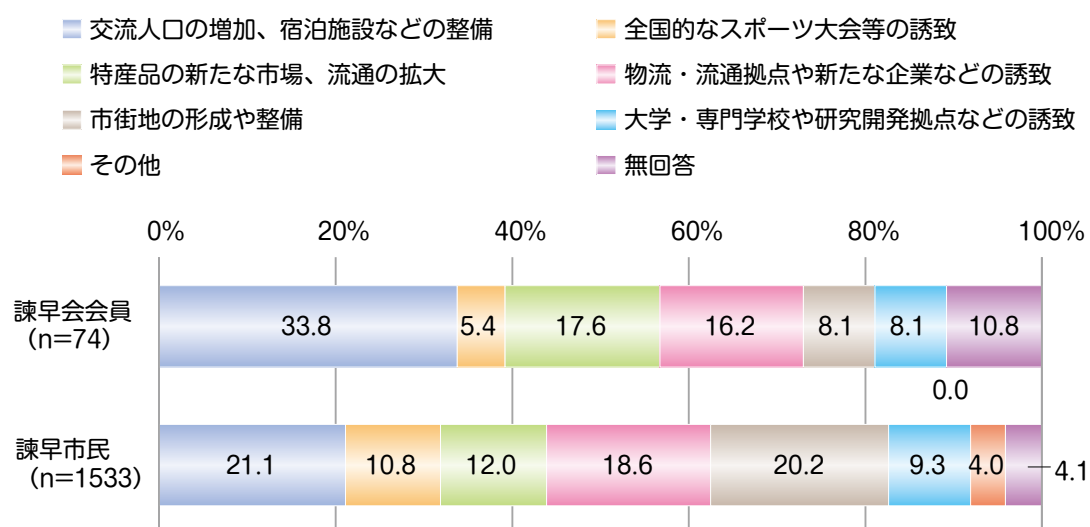
**問10** あなたは、九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）が完成した後の諫早市のまちづくりにどのようなことを期待しますか。お考えに近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

● 「交流人口の増加、宿泊施設などの整備」が33.8%で最も多い。

九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）が完成した後のまちづくりに期待することについては、「交流人口の増加、宿泊施設などの整備」が33.8%で最も多く、次いで「特産品の新たな市場、流通の拡大」（17.6%）、「物流・流通拠点や新たな企業などの誘致」（16.2%）、「市街地の形成や整備」「大学・専門学校や研究開発拠点などの誘致」（同率8.1%）、「全国的なスポーツ大会等の誘致」（5.4%）の順となっています。

諫早市民を対象とした調査における同設問の分析結果と比較すると、「交流人口の増加、宿泊施設などの整備」で会員（33.8%）は市民（21.1%）を12.7ポイント上回っており、一方、「市街地の形成や整備」では市民（20.2%）が会員（8.1%）を12.1ポイント上回っています。[図表5参照]

【図表5】九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）が完成した後のまちづくりに期待すること（全体、市民との比較）



### (3) 市民ワークショップでの主な意見

#### 項目① 伸ばすところ

- ・ 諫早市の名所の絵（写真）入り標識を立ててPR
- ・ 農産物のブランド化
- ・ 市外から人を呼び込む
- ・ 観光客数増加
- ・ 人々が交流する場
- ・ 人とのつながりや地域とのつながり
- ・ 産業（企業）の誘致
- ・ 昔ながらの文化・芸能の伝承
- ・ 子育てしやすいまち
- ・ 商店街の活性化

#### 項目② やるべきこと

- ・ JR諫早駅にできるビルに商業施設
- ・ 映画館等の誘致
- ・ 大企業の誘致
- ・ 公共交通機関のバリアフリー化
- ・ 人口減少に歯止め
- ・ 雇用の充実
- ・ みんなでつくる地域福祉の充実
- ・ アーケード街の活性化
- ・ 道の駅をつくる
- ・ 子どもからお年寄りまで安心して住める街づくり（コミュニケーション）（医療の充実）
- ・ 情報の発信
- ・ 子どもの医療費無料化
- ・ スポーツ施設の充実
- ・ 若者が子育てしやすい環境づくり

#### 項目③ 変えたいところ

- ・ 商店街（大型ショッピングモールや映画館が必要）
- ・ 道路整備（2車線化）本野地区
- ・ 大村～諫早間にJRの駅を設置
- ・ 若者が定住するよう本社企業の誘致
- ・ 福祉の充実
- ・ ショッピングモールの充実
- ・ 電車の本数
- ・ バス等交通機関の充実
- ・ 若い人たちが定住できるよう大学の誘致
- ・ 映画館などの文化施設、文化的イベント
- ・ 道路・交通網の充実
- ・ 駅前商店街の活性化
- ・ 若い人の遊ぶ所
- ・ 荒れた土地の利用

#### 結果 目指す方向（市民が描く将来像）

- ・ 今いる若者や他の地域からも定住してもらえるような魅力的なまちづくり
- ・ 定住したいまち！～コミュニティの充実～
- ・ 市民が主体となって子どもから高齢者が安心して暮らせるまち
- ・ 人が集まる、生き甲斐のあるまち

## 2 第1次総合計画の分析

○計画期間における事業の評価と今後の方向性について分類したものです。

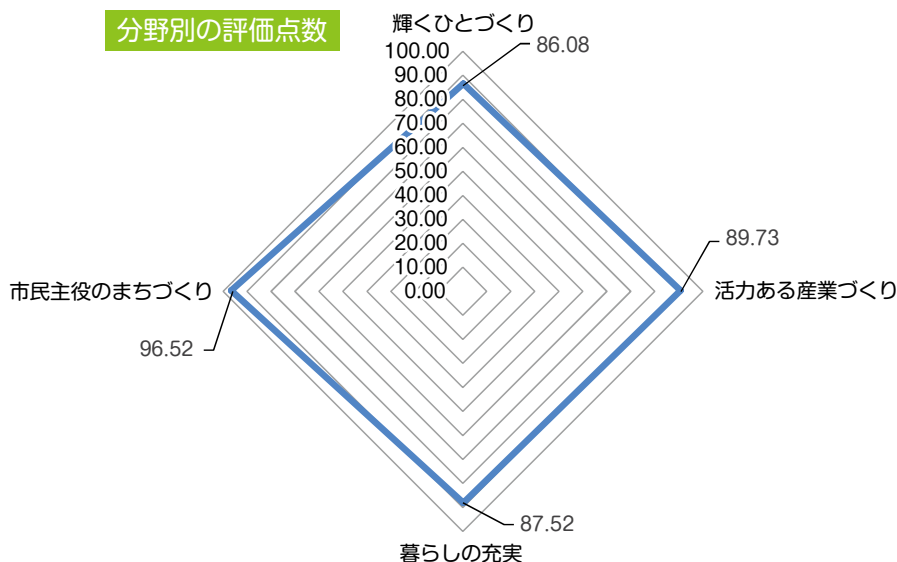
項目		評価及び今後の方向性	事業数	割合
完了		計画どおり目的を達成したことにより事業が完了した。	57	19.0%
継続	拡大	市の事業として重点的に実施すべき事業で、今後も成果向上の余地があると判断した。	23	7.7%
	縮小	社会状況及び市民ニーズの変化などで事業の必要性や成果が低下しており、今後縮小すべきであると判断した。事業等の外部委託により、行政の関与が低減した。	1	0.3%
	事業統合	類似の事業があり、統合により効率化を図ることが可能と判断した。	7	2.3%
現状維持		事業の目的から見て成果があがっており、現状のまま事業を継続することが妥当と判断した。	199	66.4%
中断・休止		事業の必要性や目的は妥当であるが、財政的な問題や不測の事態等により一時中断または休止することが妥当と判断した。	8	2.7%
中止		目的や効果等に問題があり、現状のまま継続することが望ましくない場合や社会ニーズや環境の変化により事業の必要性がなくなったものなど、中止することが妥当と判断した。	0	0.0%
未着手		計画はあるものの、未だ着手していない。	1	0.3%
その他		上記に該当しない。	4	1.3%
計			300	100.0%

○計画した事業をどの程度実施したか評価したものです。

評価	達成内容	事業件数	割合
A	総合計画に掲げた事業を達成した。 (計画どおり実施できた)	176	58.7%
B	総合計画に掲げた事業をおおむね達成した。 (計画の75%程度実施できた)	94	31.3%
C	現在、事業の達成に向けて動いている。(計画の半分程度実施できた)	21	7.0%
	現在、事業の達成に向けて動き始めている。(事業に着手し、順調に動き始めている)		
D	現在、事業の達成に向けて動き始めている。(事業に着手し、動き始めることはできた)	8	2.7%
	現在、事業の達成に向けて動き始めている。(事業に着手することはできなかったが、今後着手する予定で準備を進めている)		
E	現在、ほとんど手をつけていない。 (事業に着手することができなかった)	1	0.3%
計		300	100.0%

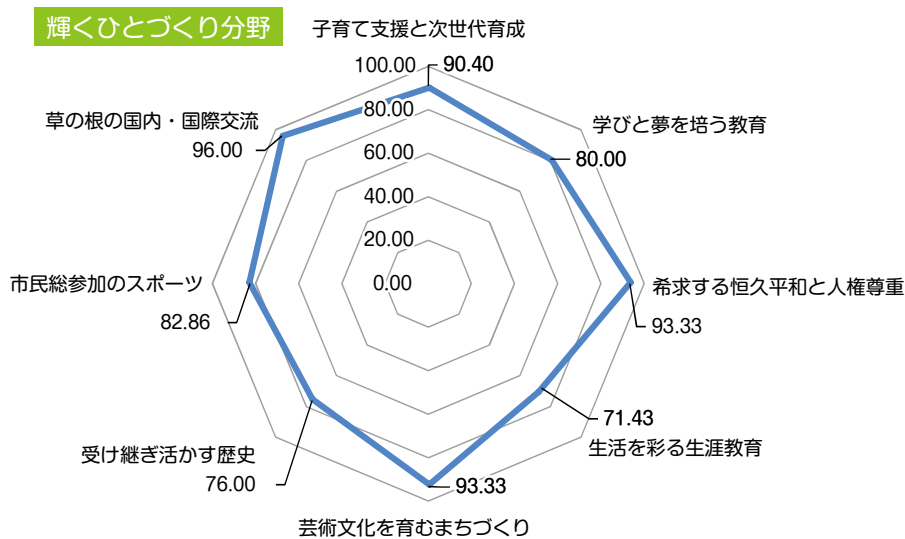
評価結果の点数化に当たっては、A=100点、B=80点、C=60点、D=40点、E=20点と換算し、各項目の合算点を項目数で除して求めている。なお、評価結果は担当課の自己評価を基本としています。

### 【分野別】



評価結果を分野別に点数化して見ていくと、『輝くひとづくり』分野が86.08点、『暮らしの充実』分野が87.52点、『活力ある産業づくり』分野が89.73点、『市民主役のまちづくり』分野が96.52点となっており、『市民主役のまちづくり』分野が高い評価となっています。

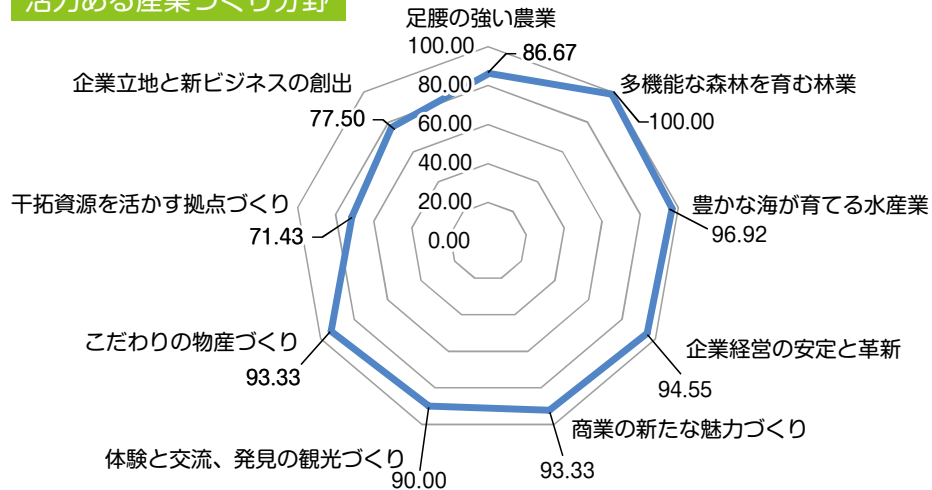
### 【輝くひとづくり】



次に、評価結果を分野ごとに点数化して見ていくと、『輝くひとづくり』分野では、「生活を彩る生涯学習」が71.43点、「受け継ぎ活かす歴史」が76.00点とやや低いほかは、「学びと夢を培う教育」(80.00点)、「市民総参加のスポーツ」(82.86点)、「子育て支援と次世代育成」(90.40点)、「希求する恒久平和と人権尊重」(93.33点)、「芸術文化を育むまちづくり」(93.33点)、「草の根の国内・国際交流」(96.00点)は高い評価となっています。

## 【活力ある産業づくり】

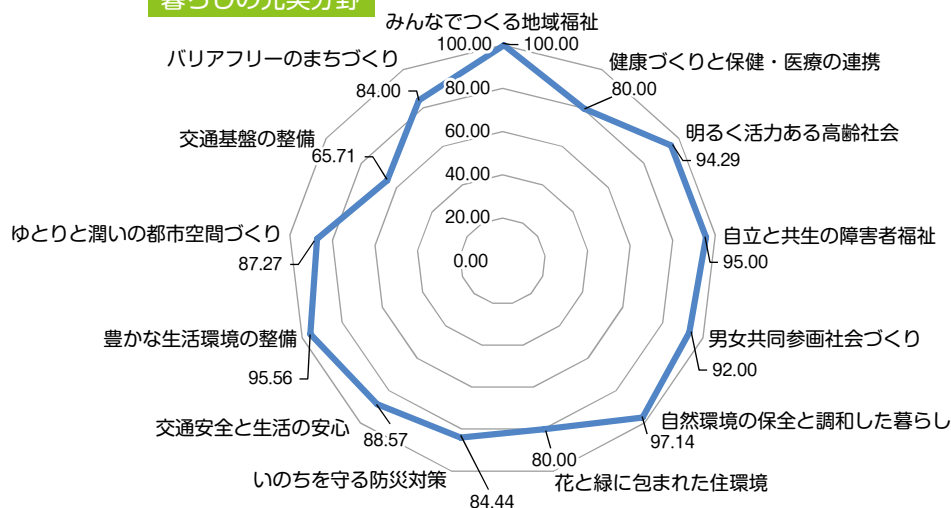
### 活力ある産業づくり分野



『活力ある産業づくり』分野では、「干拓資源を活かす拠点づくり」が71.43点、「企業立地と新ビジネスの創出」が77.50点であるが、「足腰の強い農業」は86.67点、「体験と交流、発見の観光づくり」は90.00点、「商業の新たな魅力づくり」は93.33点、「こだわりの物産づくり」は93.33点、「企業経営の安定と革新」は94.55点、「豊かな海が育てる水産業」は96.92点、「多機能な森林を育む林業」は100.00点と高い評価となっています

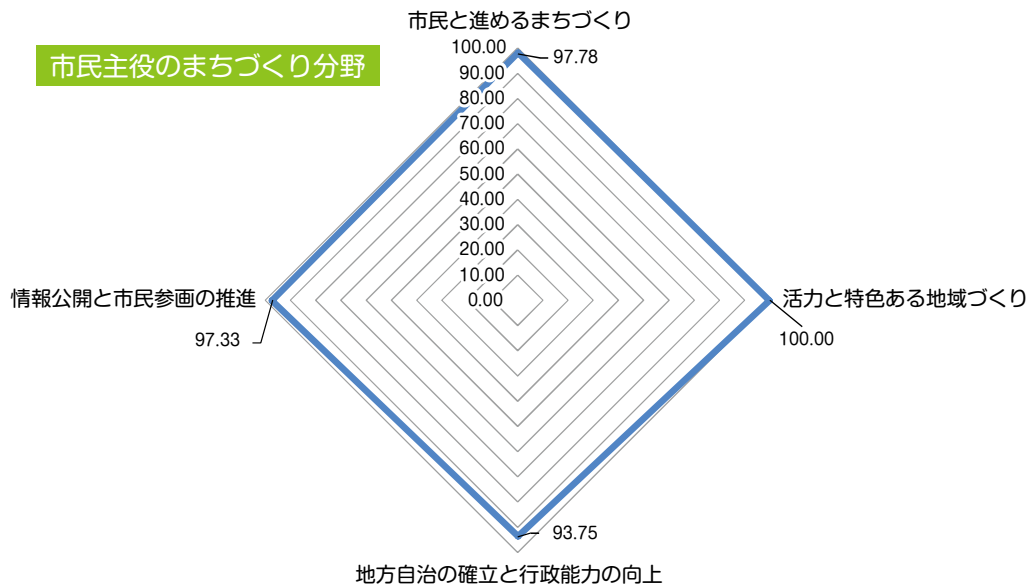
## 【暮らしの充実】

### 暮らしの充実分野



『暮らしの充実』分野では、「交通基盤の整備」が65.71点であるが、「花と緑に包まれた住環境」が84.44点、「健康づくりと保健・医療の連携」が80.00点、「いのちを守る防災対策」は84.44点、「ゆとりと潤いの都市空間づくり」は87.27点、「バリアフリーのまちづくり」は84.00点、「交通安全と生活の安心」は88.57点、「男女共同参画社会づくり」は92.00点、「明るく活力ある高齢社会」は94.29点、「自立と共生の障害者福祉」は95.00点、「豊かな生活環境の整備」は95.56点、「自然環境の保全と調和した暮らし」は97.14点、「みんなでつくる地域福祉」は100.00点となっています

## 【市民主役のまちづくり】



『市民主役のまちづくり』分野では、「地方自治の確立と行政能力の向上」が93.75点、「情報公開と市民参画の推進」が97.33点、「市民と進めるまちづくり」が97.78点、「活力と特色ある地域づくり」が100.00点と全体に高くなっています。